

# 市子連だより

第15号 平成22年3月

## 一緒にしゅいや！子ども会

発行所：米子市子ども会連合会 米子市東町161-2 米子市教育委員会生涯学習課内

平成21年度米子市子ども会リーダー育成研修

冬の沖縄読谷交流

平成22年2月12日～15日

読谷村子ども会員18人、ジュニアリーダー2人、引率者3人を迎え、「冬の沖縄読谷交流」を行いました。米子市からは、20人の子ども会リーダー、地区・単位子ども会の役員、育成者が参加しました。

大山でのスキー、芸能交流、そして各地区での趣向を凝らした子ども会活動と、充実した4日間で、あっという間に時間が過ぎました。



豪円山スキー場に全員集合

児童文化センターで歓迎会・芸能交流会



交流日程

2/12(金) 市役所表敬訪問

再会式

中の原銀嶺宿泊

2/13(土) スキー

歓迎会・芸能交流会

民泊家族対面

2/14(日) 地区・単位子ども会との

交流や民泊家庭との交流

2/15(月) お別れ式

よう来てごしなつた！  
沖縄読谷村子ども会

## ～後期 米子市子ども会連合会 子ども会育成者研修 参加報告～

期日：平成22年1月24日（日） 場所：明道公民館  
内容 講義「子ども会活動の計画を立てるために」&質疑応答  
講師：西林 いずみ（米子市子ども会連合会副会長）

次年度の役員の決定、活動計画の立案がされるこの時期に、研修会が実施されました。子ども会の活動計画を、子ども達が立案していくことも大切なことではないでしょうか。研修会では、「子ども企画会議」を想定して、「自分たちが実施したいこと」をそれぞれが発表していきながら、年間計画を立てていく方法について、グループワークを行いました。意見発表の方法は、付箋を使って自分の意見を記述し、出していく方法が取られました。

口頭での意見交換だけでは、なかなか発表できなかったり、自分の思いがうまく伝えられなかったり、まとまらなかったりする子ども達も、付箋を使って書きながら意見を出すことにより、発言することへの抵抗感も少なくなるのでは、ということでした。また、個々の意見が残るので、その後の検討もスムーズに行えることが利点だということです。

「子どもの手による子ども会」が実現するように、ちょっとした工夫を盛り込みながら、子ども会運営に携わっていけるといいですね。



## ～子ども会リーダー研修参加保護者のご意見(抜粋)～

沖縄との交流事業に参加して『一期一会』・・・出会いのすばらしさを感じました。知らない土地の文化にふれることもでき良い体験をさせてもらったと感謝しています。

市子連の研修を通して学校以外の友だちと話をする機会も与えられ、良い刺激を受けることができました。この一年体験して得た事を地区の子ども会で活かしてほしいと願います。

体験してみなければ理解できないこともたくさんありましたが、みんなのやさしさいっぱいあっての子ども会交流なのだと思うので、みんなで何度も何度も仲良く話しあえることが大切だと思いました。子どもにとって色々な体験を1つ1つ乗り越えていくことが宝になると思いました。

## リーダー研修に参加してみませんか?!

平成22年度より、2つのコースでの参加者を募集します。

5, 6年生対象 **異文化体験コース**  
(沖縄県読谷村交流コース)

4, 5, 6年生対象 **野外体験コース**  
(キャンプ・子ども大会コース)

募集要項は3月～4月中旬に小学校を通じて配布します。

お申し込み、お待ちしております。

【お問い合わせ】米子市子ども会連合会

事務局：米子市教育委員会 生涯学習課内 (Tel.23-5439)

